

偏差値だけに頼らない

中高一貫校 選び 2023

付録
書き込み式
スケジュール帳
つき!
説明会のお役立ち
情報満載!



中学受験動向
最新ニュース

入試問題を
読み解く

鷗友学園、広尾学園ほか

校風、部活動、寮…
偏差値+αの
志望校選び

東京都市大学付属、
跡見学園ほか

先輩ママからの
アドバイス
朝比奈あすか



中学受験を
始める前に
知っておくこと

中学受験vs.
高校受験

知りたい!
公立中高一貫校
都立小石川

わが子に
合った塾選び
6大塾の特徴を紹介

中学受験に
いくらかかる?



本誌
独自集計

学校ごとの“強み”が見える | 国公立 | 医学部 | 難関私立 | 芸術系 | …

全国387校大学合格実績一覧

カテゴリー別

インタビュー
俵万智

NEWS

加藤シゲアキ

| 麻布 | かえつ有明 | 香蘭女学校 | 工学院大学附属 | 実践女子学園 | 大宮開成 | 西大和学園 |

注目校の魅力を徹底解剖!

中学受験の「困った」に備える

こんなとき親はどうする？

中学受験に向けて、親は次々と発生する「？」や「！」に対応しなければなりません。問題・不安への対処法や心構えを解説します。

文＝平瀬菜穂子、鳥成有佳子、堀美希 イラスト＝佐藤香苗、WOODY



11 の困ったQ&A



親も迷ったり困ったりするのは当たり前。志望校選び、反抗期の対応など、多くの親が経験した悩みに対し、4人の専門家が答えます。

答えてくれた人



金子香代子さん

国語プロ講師、中学受験カウンセラー。「子どもの目線における」がモットー。著書に「中学受験 金子式「声かけ」メソッド 最速の国語読解力」(大和書房)。



齊藤美琴さん

中学受験コーチングを中心に、幼・小学校受験の相談など家庭の力を引き出す指導を行う。専門は国語で、オーダーメイドの読解トレーニングに定評がある。



松島伸浩さん

スクールFC代表兼花まるグループ常務取締役。対応してきた教育相談は1万件に上る。著書に「中学受験 親のかかわり方大全」(実務教育出版)。



矢萩邦彦さん

知窓学舎塾長、多摩大学大学院客員教授。探究学習の第一人者として小学生から社会人まで幅広く指導している。「AERA dot.」で中学受験情報を発信中。

A 塾と家庭の役割を区別して対策を立てる

塾は学びの刺激を与える場、家庭はそれを定着させる場で、家庭学習はとても大切です。親が「教える」必要はありませんが、「見守る」大人は必要だと思います。学習計画が立てられない、隣に誰かがいなければならないといった子どもの場合、軌道に乗るまで家庭教師や個別指導を考えてもいいかもしれません。また、模試の解き直しや漢字や年号暗記などは、塾では基本的に扱いません。ここを大人がしっかり伴走できるかで、その後の伸び方は大きく変わってくると思います。

齊藤美琴さん

Q1

共働きで、
子どもの
勉強を見て
あげられない



A 程よい親子の距離感を前向きにとらえる

最近、子どもに勉強を教えようと張り切る親が増えています。ただこれでは、子どもにとって家庭が息抜きの場にならず、ストレスをためてしまうケースも。親が働いていることで程よい距離感を保てるのは、むしろよいことです。どう関わるかは家庭によって異なりますが、大切なのは子どもがしっかり勉強に向き合っているかどうか。ノートを見れば、授業の理解度、宿題の取り組み方がわかります。やれていないようなら、その理由を冷静に聞いた上で塾に相談しましょう。

松島伸浩さん

A どうして成績が上がらないのか
それを整理するのが先

成績不振には必ず理由があります。まず、塾のクラスは適正でしょうか。たまたま上位クラスに入っても、ついていけないなら、あえて下のクラスで力をつけてから上がる選択もあります。安易な転塾は勧めませんが、たとえば「子ども同士のトラブル」「先生とどうしても合わない」といった理由で勉強に集中できないようであれば、一度塾に相談してみましょう。その後改善が見られないなら、決断も必要です。転塾のタイミングは、通常授業の途中より、夏期講習、春期講習のスタートに合わせるとスムーズになじめると思います。

松島伸浩さん



Q3

なかなかテストの
点数が上がらない。
転塾を考えるべき?

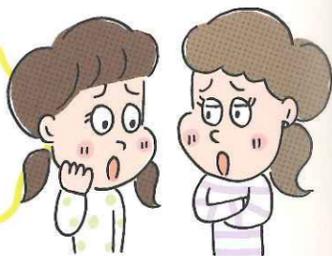
A 塾に相談し、家庭学習を見直し。
万策尽きてからでも遅くない!

私の経験では、転塾して成績が上がったという子はほとんどいません。まず授業のノート、家庭学習ノートを持参して、塾に具体的に学習法を相談してみてください。家庭学習に問題がある場合は、家での復習方法を見直しましょう。先生と親しくなれず、質問する習慣がない子どもなら、「先生から声をかけてください」とお願いしてみるのも手。授業だけで理解できる子はわずかです。個別指導や質のよい学習動画を活用するのもおすすめ。ここまでやって初めて転塾を考えるのが適切といえます。

金子香代子さん

Q4

志望校が決まらない。どうやって決める?



A 子どもならではの視点を尊重し
大人にしかできない提案をする

まず、親目線でいくつかの学校を選び、ある程度絞った状態で子どもに提示します。大学付属であっても、ほぼ全員がその大学に進学するのか、3割程度しか進まないのかでは、6年間の過ごし方が大きく変わります。推薦制度はあるのか、どんなカリキュラムなのかなど、大人ならではのチェックポイントを大切にしてください。ただ、子どもには子どもの視点があります。「この学校のトイレは嫌」といった理由で断固拒否ということもあるのです。それを受け入れるには、親が「この学校が一番」と思い定めなさい。行きたい学校がたくさんある、という環境を作っておきましょう。

齊藤美琴さん

A アドバイスはたっぷりして
最後は子どもに決めさせる

「志望校は自分で決めた」という納得感が、子どものやる気を引き出します。親の役割は、十分な判断材料を与えること。学校見学はもちろん、入試問題も学校を知る有効なツールです。「この問題、おもしろい」「こんな問題を作る先生の授業を受けたい」といった気持ちが、モチベーションアップにつながることもあります。過去問題を解くのではなくパラパラと眺めて、学校からのメッセージを体感するとよいでしょう。親の主観的な意見もどんどん言い、その上で「あなたはどう思う?」と子どもの考えを聞いてみましょう。

矢萩邦彦さん

Q2

習い事、友だちと
遊ぶ時間、睡眠…
時間が足りない



A 体力・集中力・自分の課題を
見える化、する習慣を

基本的な優先順位は、睡眠、学校、塾の通常授業、テストの順。それ以外の時間の使い方を考えるとき、親子でスケジュールを作成することをおすすめします。ポイントは1週間を可視化し、計画を立てること、ノープランの予備日を作ること。書き出すとわかりますが、自由時間は意外と少ないもの。これを体感できた子どもは、必然的に時間を具体的に感じられるようになり、自分の体力や集中力を把握できます。遊ぶ時間や習い事についても、現実的に即した意見が持てるようになるでしょう。スケジュール表は下図を参考にしてみてください。

金子香代子さん

A 本当に中学受験したいのか、
見極めるために休ませる決断も

私は、子どもの成長に一番重要なのは「主体性」だと確信しています。自分がやりたいからやるんだ、という気持ちがなければ、「受験マラソン」をポジティブに完走することは難しいでしょう。あれもこれもと取捨選択できず、キャパオーバーになるのなら、1カ月ほど塾を休み、受験するかどうか自体を子どもに選ばせてみましょう。勉強する習慣が身につけている子なら、その程度の欠席で実力が左右されることはありません。今の時間を楽しみたいから受験しない、というのも立派な答え。受験適齢期は決して一律ではありません。

矢萩邦彦さん

スケジュールを立てて見える化、しよう!

取り組みにくいもの	日	土	金	木	水	火	月	
④				②	①	②	①	登校前
③								下校後
②								塾
① 取り組みやすいもの						③		帰宅後

- ① 漢字問題 10問
② 計算問題 10問
③ 社会の基本問題
④ 週テストの解き直し
⑤ 家庭学習

長期的な視野を持ちづらい子どもにとっては、1週間のスケジュール作成が最も効果的。毎週親子で練り直し、現実的なものにしていこう。課題のやり残しは必ず発生するものとして、予備日を設けることも重要。

STEP1

やるべきことをランダムに書き出す
やるべきことをランダムに書き出し、スケジュールを「見える化」。こうすることで、目で見て理解し、やらなければという意欲につながる。

STEP2

「取り組みやすさ」を基準に
優先順位をつける
子どもの意見を聞きながら、取り組みやすいもの、取り組みにくいものに振り分けてから、優先順位をつける。

STEP3

予定に合わせて割り振っていく
優先順位の高いものから、スケジュール帳のマスの中に組み込んでいく。空き時間も見える化することで、メリハリがつく。



Q7

志望校の過去問を始めたけれど 点数が悪い。志望校を変えるのもアリ?

A 学力なのかスピードなのか 子どもの問題を把握しよう

模試も過去問も点数が悪いなら、過去問を解く前に基本に戻りましょう。模試は合格圏内なのに、過去問で点数が取れないなら、苦手分野の穴が大きかったり、出題傾向がつかめていなかったりすることが考えられます。これは塾の先生に相談するのが近道です。過去問を解くときは、試験時間で解いたあと、時間が足りないときは延長して解いてもいいでしょう。延長したことで解けているなら、ペース配分、処理スピードの問題です。このように点数にとらわれず、問題の本質を突き止めることを重視してください。

松島伸浩さん

A 点数はひとまずおいて 徹底的な分析を!

6年生の9月ごろから過去問を解き始めるのがセオリーですが、点数に振り回されてはいけません。合格点を取るために、過去問は研究材料として徹底活用しましょう。問題を分析し、克服法を考えるのは、家庭だけでは難しいので、塾の先生やプロにアドバイスをもらいましょう。ただし、子どもの「この学校の問題はなんだか解きづらい、自分に合わない」といった声は聞いてあげて、志望校選びの材料にしてください。子どもの感覚として合う・合わないは確実にあると思います。

金子香代子さん

A 思いつきで行動せず 親自身の感情を持ちこまない

塾は、時期に合わせて最適なカリキュラムを組んでいます。直前期にはあえて無理をさせず、無心に手を動かすことに集中させることもあります。それをきちんとこなしているのなら問題ありません。でも、親は焦ってしまうもの。急に新しい問題集を買ってきたり、受験ブログを読んで、やり方を変えようとしたり……。気持ちはわかりますが、大人の感情を持ちこまないようにしましょう。受験手続き、スケジュール調整など、親は事務作業をしっかり行うことに注力してください。

齊藤美琴さん

A 子どもが時間の大切さを知るのは 受験が終わってからと腹をくくる

親は「あれもこれもやらなくて」と青くなりがちですが、子どもは焦らないのが普通。受験をしたこともなければ、数週間先のことで遠い未来のように漠然としたイメージしか持てないからです。時間感覚を共有したければ「毎週日曜日のアニメをあと4回見たら本番よ」など、イメージしやすい伝え方がいいでしょう。子どもが「あのときもっと、時間を大切にすればよかった」と思うのは受験後。受験前に、騒ぎ立てても仕方ないと腹をくくってください。

矢萩邦彦さん

Q8

受験も近いのに 子どもはのんびり。 このままで大丈夫?



A 「この問題、難しいよね」 と気持ちに寄り添う

受験のストレスが反抗的な態度としてあらわれることも。イライラしている子どもの心に響くのは「しんどいよね。でも、よくやるよ」という共感です。親は、受験の場面で子どもに高い精神性を求めがちですが、くつろげる場がなければ子どもは戦えません。カンニングや塾の無断欠席などがあれば、親自身の態度を見直してみましょう。

金子香代子さん

A 親のイライラは 第三者に頼るのもOK

親にとって一番イライラするのは、子どもがダラダラしているとき。「受験生なのに」と注意したくなりますが、第三者を入れることで関係が改善することもあります。塾に相談し、いつも通りやっているようなら、ひとまず様子を見ましょう。先生から子どもに話してもらうこともできます。親の焦りを子どもにぶつけないことを心がけてください。

齊藤美琴さん

A 反抗の裏にある子どもの心を知る努力を

テストを見せない、点数をごまかすといった場合、行為そのものが問題ではなく、「(勉強が)できない・わからない=悪いこと」という思考回路になっている可能性があります。テストの成績だけで褒めたり、叱ったりしていませんか? 受験期は親も視野が狭くなりがちですが、テストの点数だけではなく、それまでの努力を褒めてほしいと思います。

矢萩邦彦さん

Q6

「中学受験したくない」と言い出した! どうすればいい?

A 本心は受験させたいなら、軽はずみな言葉はNG

「好きにしろ」と言ったところで、本心はどうか続けさせたいと思う親がほとんどです。子どもは受験をやめれば勉強から解放されると思い込んでいます。でも、中学受験をやめても勉強は続くものだと理解させた上で、子どものやめたい気持ちに寄り添い、つらさの原因をなくしていくとよいでしょう。

齊藤美琴さん

A どうしても嫌なら、その選択を受け入れる

ルールから降りるのは子どもでも怖いはず。まず打ち明けた勇気を認めてください。その上で中学受験のメリット・デメリットを一緒に書き出してみましょう。学校見学に行って、具体的なイメージを持たせるのも有効です。それでも受験が嫌と言うなら、その意思を尊重してあげましょう。

金子香代子さん

Q5

何かと反抗したり、 うそをついたり…。 思春期の子どものとの 付き合い方は?



受験までの親のサポート
ここを頑張った!

聖徳学園中学・高等学校
谷口由紀子さん(中学3年生の母)

娘が通塾を始めたのは小学5年生の3月。「何が何でも合格」というよりは「自分も中学受験を経験してみたい」というスタンスだったので、集団指導の塾ではなく、個別指導塾と家庭教師を併用して学習を進めました。学習面はプロに任せ、私たち親のサポートは食事や体調管理など、生活面での目配りが中心でした。都立校との併願で今の学校が第1志望ではなかったのですが、毎日とても楽しそうに通学し、主体的に学んでいる娘の姿に日々成長を感じます。

受験までの親のサポート
ここを頑張った!

獨協中学・高等学校
山田 桜さん(仮名)
(中学1年生の母)



長男に次いで2度目の中学受験。本人は2年生のときから塾に行っていたので、勉強する習慣はついていましたが、私がフルタイムで仕事をしていたこともあり、学習面のフォローにあまり時間をかけた覚えはありません。でも、子どもと一緒に最後の追い込みの1カ月は頑張った実感があります。過去問を解かせつつ、苦手な単元を改めてピックアップし、やるべき問題を抽出した小さなプリントを自作して苦手の克服を図りました。入学後間もないですが、やんちゃな男子を鍛え、優しく受け止めてくれるような大らかな校風がとても気に入っています。



Q11

考えたくはないけれど...
合格通知をもらえなかった
ときはどう対応すればいい?

A 進学先が決定してから
入学式までをどう過ごすかがカギ

次の試験に向けて「明日は押さえの学校だから大丈夫」など言ってお慰めるのはNG。よかれと思って口にしたとしても、子どもにはその学校にマイナスのイメージが残ります。受験する学校は、すべて通学する可能性がある学校ということを忘れないでください。そして進学先が決定したら、親こそ入学式を楽しみにしましょう。制服採寸の日、説明会の日。親の表情を子どもは必ず見えています。親子で入学後のイメージを共有できると楽しいですよ。

齊藤美琴さん

A その答えを探していくことが
今から始めるべき親の役割

中学受験において、第1志望に合格する子どものほうが少ない中、不合格の結果が出てから子どもにかけられる言葉を考えるのは遅すぎます。受験をすると決めた時点から、「合格以外に我が子に何を与えられるか」を考え続けることは親にしかできない役割。その核があれば、おのずと対応が見えてきます。日々の成長をその都度認められ、肯定的に見守られてきた子どもは、たとえ合格がもらえなくても立ち直りが早いように思います。

金子香代子さん

A 子どもの挫折は親が作る。
「私立中学=幸せ」ではない

「中学受験は通過点です」といっても、受験期の親には響かないかもしれません。でも、公立でも私立でも、子どもがどんな学校生活を送ることができるのかは、実際に通うまでわかりません。「私立中学に行ったら幸せ」とは限らないのです。確かなのは、受験を経験した子どもは必ず成長しているということ。それを認めて、子どもを誇りに思えれば、受験の結果がどうであっても、その経験を糧に前に進むことができると思います。

矢萩邦彦さん

A 入試に挑んだ我が子を
思い切り抱きしめてほしい

すべての学校が不合格にならないよう、綿密な受験校選びを。進学の可能性がないとしても、合格通知は心の支えになるものです。中学受験をする子どものほとんどは、不合格を経験します。だからこそ「本命校は3校作る」のが理想です。第1、第2、第3と順位をつけるのではなく、どの学校に合格しても胸を張って行ける、そんな学校を見つけてほしいです。最後は「よく頑張ったね」と抱きしめてあげてください。

松島伸浩さん

A 量より質の勉強で
合否を分ける1問をもぎ取る

総仕上げとして過去問演習がメインとなります。苦手な単元が見つかったら基本に戻り、一度解いたテキストをやり直しましょう。この時期の勉強は量より質。あと数点で合格に届くゾーンに多くの子どもがひしめき合っている中、1問・2問が合否を分けます。新しい問題に手を出して不安になるよりも、使い慣れた教材で自信を積み上げる勉強のほうが確実に点数につながります。

松島伸浩さん

A 「できないこと」に手を出すより
「ちょっとできること」を仕上げる

親はつい「できないこと」に目を向けがちですが、「ちょっとできること」を洗い出してほしいと思います。できないと自覚していれば、本番でその問題を飛ばすこともできます。一方、中途半端に知っていることを「これはできそうだ」と判断し、手こずってタイムアウトになることがよくあります。大切なのは、ちょっとできることをきちんと仕上げること。確実に解ける問題を増やすことが、自信につながります。

矢萩邦彦さん

Q10

受験当日にまさかのトラブル!? どう対処して備える?

A 当日の不安をなくすために前日の準備は怠りなく

十分に気をつけていても、急に子どもの体調が悪くなることもあります。不安がある場合は早めに病院に行き、受験することを前提に診療してもらいましょう。前日になっても調子が戻らないようなら、受験校に連絡して、体調が悪いときにはどうしたらいいか相談しておくといいでしょう。受験できるよう、柔軟に対応してくれる学校がほとんどです。不安を抱えたまま試験に向かうより、学校とも情報を共有しておくほうが、子どもの負担も少なくなります。

松島伸浩さん

A 実は準備不足? 女の子は生理対策を

このようなトピックで、あまり取り扱われないのが女の子の生理についてです。当日はトイレの時間も限られ、面接のために着用したフォーマル服で戸惑うことも。初潮を迎えていなくても生理用品を持たせるのはもちろん、大切なのは生理に対して「想定外」「大変なこと」と思わせないように、日頃から親子で話しておくことだと思います。「恥ずかしいことでもないし、サポートが必要なら先生に話しても大丈夫」ということを、しっかり伝えておきましょう。

齊藤美琴さん

Q9

受験まで1カ月。何を
勉強したらいい?



受験までの親のサポート
ここを頑張った!

中村中学校・高等学校
朝日花子さん(仮名)
(中学2年生の母)



大手塾に小学3年生から通っていたのですが、成績が伸び悩み、どうしたら毎月のテストの点数を上げられるか、家庭でも試行錯誤しました。具体的には、塾の授業で次に学ぶ内容を私があらかじめチェックして予習させたり、塾主催の保護者向け講座に参加して、暗記学習や小テストに向けた勉強についてフォローしたりしました。中学入試では算数が苦手でしたが、いまや数学は得意科目に。あのころの努力が実を結んでいるんだなとうれしく思っています。